

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年八月度 入選句（投稿総数二千四十三句・一般投句数七百七十六句）

特選

選者 大橋 庄一郎

清水湧く街百年の史を祝ふ

大垣市

清水 登美子

水の都と呼ばれる大垣市は、市制百周年を祝つて、有意義な沢山の行事を企画され盛大に実施されて居り、市民も大変喜んで参加して居られる、その百周年を俳句にされるには、文字数も少く難儀ですが、よく纏められよい俳句にされましたのに感心致して居ります。

揃い帯茅の輪くぐりの姉と妹

大垣市

村瀬 慶子

茅の輪くぐりは毎年六月に行われる神事で、昔からある神社の行事で無事に夏の暑さを含め越え、元気に何事もなく無病息災を願う行事です。姉さんと妹さんが揃いの帯でお詣りされる事は素晴らしい事だと思いますが、下の句の「と」は要るのでしょうか。

人々の心が一つ盆おどり

大垣市

佐竹 凌

夏の夜空の下浴衣姿の参加者が、馴染の曲と太鼓や笛に合わせてやぐらを中心に楽しく踊る盆踊り。地域の団結親睦観光等の為各地で行はれてますが、踊りがばらばらでは折角の盆おどりに値打が無い。盆おどり有名地の踊りは一糸乱れず一体感が有り素晴らしい。そのよい盆おどりを中句で心が一つとよまれたいい句です。

秀逸

兜虫王者の風格ほとばしる

大垣市

長谷川 一馬

大垣や清水ながれるいい町だ

大垣市

古田 峰穂

炎天や巡回バスに客一人

不破郡垂井町

富田 実郎

猛暑にも負けず球児は大樹なり

大垣市

松永 勝二

台風のおつめあとにまだ悲惨なり

大垣市

岩田 唯志

裏向けて並ぶボートや梅雨盛り

不破郡垂井町

北村 廣美

響く鐘平和の祈り原爆忌

安八郡神戸町

早津 郁男

美濃路ゆく人影まばら酷暑かな

大垣市

大角 信華

水まんじゅう食べて詠みたし結びの地

愛知県常滑市

井上 伸子

猛暑まで襲う被災者負けないで

加茂郡八百津町

新井 遊

入選

芭蕉像みつめる先は夏の空	大垣市	北原	丈也
夏休みカブトクワガタ人気者	大垣市	服部	宏志
赤とんぼ夕やけの空を飛んでいく	大垣市	川口	彩草
たどり読むはせをの句碑や蝉しぐれ	大垣市	清水	登美子
大社殿蝉鳴き消さる大太鼓	不破郡垂井町	高木	紫雲
朝じたたく耳をつんざく蝉時雨	大垣市	娑婆だ	娑婆
片かげり杖の友会ひ老ひを知る	大垣市	佐久間	美佐子
炎天下身を踊らせて応援歌	大垣市	北村	陽子
花火済み寝る子の重し腕の中	養老郡養老町	山田	順子
外つ国の言葉飛び交う鶉飼かな	本巣市	土川	哲生

入選

土間に寝る犬の喘ぎや熱帯夜	海津市	横井	美佳
打ち水や真昼の暑さ湯気になり	大垣市	稲垣	君弥
この暑さ旅一番の思ひ出ぞ	奈良県奈良市	窪田	多津子
妻のやや声高となる炎暑かな	東京都世田谷区	関戸	信治
ひとり増し寝る場所探す夏座敷	大垣市	富田	きよ子
熱き道夕立来ぬかと仰ぐ空	京都府宇治市	谷田	好英
山風に古寺の風鈴鳴り続け	大垣市	大杉	すみゑ
寝苦しき夜の窓辺や夏の星	大垣市	高石	政明
遠雷の鳴りて夕立来ず仕舞い	福岡県田川郡	成松	義紀
薔薇の花朽ちても残る香りかな	三重県四日市市	藤田	勝民

選者吟

盆の家佛間にも引く客の夜具

庄一郎